

平成30年度 安全保障貿易管理研修会

海外法制度シリーズ<米国再輸出規制>

—外為法を守りながらEARにも対応する!—

平成31年1月18日(金)
 大阪：新大阪丸ビル別館
 10F10-1号室

平成31年1月21日(月)
 横浜：パシフィコ横浜
 会議センター3F

講師	テーマ
第1時限 (10:00~11:45)	米国再輸出規制の基礎及び米国最新動向 —リスクマネジメントとしての米国再輸出規制対応—
CISTEC 情報サービス・研修部 副主任研究員 小野 純子	<ul style="list-style-type: none"> ➢ BISアップデート2018の報告 ➢ なぜ米国法を学ぶ必要があるのか? ➢ 外為法との比較から理解する米国再輸出規制の枠組みと制度 ➢ 米国法の全体像 ➢ 法人の業態別の再輸出管理実務
昼食休憩 11:45~12:45	
昼食は買ってこられたものを会場内でお召し上がることも可能です。 また会場付近に多くの飲食店がございます。	
第2時限 (12:45-14:45)	再輸出管理の実務 —規制品目リストの使い方/許可例外・許可要否等—
CISTEC 参与 新留 二郎	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 米政府の許可の要否はどの様に判断するの? ➢ ECCN、CCL、カントリーチャート、国群とは何? ➢ 許可の不要な特例について学ぶ ➢ 演習で許可の要否の判断を経験する ➢ 規制対象品目だけで許可の要否を判断できるの?
休憩 (14:45~15:00)	
第3時限 (15:00-16:15)	再輸出規制のケース・スタディ
株式会社神戸製鋼所 コンプライアンス統括部 主任部員 福井誠司	<ul style="list-style-type: none"> ➢ ケース・スタディで第1時限目及び第2時限目の理解を更に深める ➢ 暗号規制について学ぶ ➢ 何がEARの規制対象になるの? ➢ 組込品の組込比率はどの様に計算するの? ➢ 分かり易いカントリー・グループ(国群)
16:15~17:00	質疑応答